2026 年 11 月 12 日

日本先天異常学会
学会員の皆様

将来計画検討委員会では第 14 回 JTS リサーチ・コネクトを企画させて頂きました。
今回の演者は、筑波大学の鈴木 颯 先生です。筑波大学動物資源センターでは、数多くのトランスジェニックマウス作製の受託を担っており、共同研究を数多く行っています。鈴木先生はその中の実務にも多く携わり、自身の研究も本年の日本実験動物学会総会で優秀発表賞を受賞しました。本研究会を通じて、新たに多くの共同研究が生まれることを期待しています。

【第 14 回 JTS リサーチ・コネクトのテーマおよび演者について】
メインテーマ「トランスジェニックマウスと希少疾患の病態解明（仮)」
演者　鈴木　颯
所属　筑波大学医学医療系トランスボーダー医学研究センター生命科学動物資源センター

【開催日時】
令和８年１２月４日（金）　17:30〜

【開催方法】
Zoom ミーティング

【参加登録フォーム】
https://forms.gle/rRLsoNiNckQsjcYR8
（登録締め切り 11 月 30 日）

【全体のスケジュール】
・発表は発表４０分程度、討論２０分程度の６０分を予定しています。
・(参加者人数によりますが）簡単な自己紹介も検討しておりますので、参加の際にはカメラ、マイクのご準備をお願いいたします。
・質疑応答は ZOOM システム上で挙手して頂いて、座長が順に指名致しますのでマイク及びカメラを ON にして発言をお願いいたします。
・詳細な発表内容、プログラムは後日配布いたします。

【本研究会について】
本研究会の目的には
〇リモート、ウェブ会議を活用して、より気軽に発表できる機会を設ける。
〇進行中の研究、実験を発表し、学会内の専門家を交えて討論する。
〇自身や研究室の研究テーマを紹介し、共同研究先、研究協力先を募る。
〇大学院生や若手研究者が発表する場所を提供する。
があります。
　本会は事前登録制で、秘密保持に同意していただける方のみが参加できます。
発表者との距離を近くし、気軽に発表、討論できる機会を設け、学会員の誰がどんな研究をしているのか、また、解析中にこんな困ったことがあるので専門家に相談したいといったニーズに応えられる場にしていきたいと思います。

※発表内容の詳細が分かるハンドアウトを事前に配布いたしますので、共同研究の可能性や研究協力の可否の検討の参考にして下さい。

【問い合わせ先】
・世話人
鈴木　寿人（筑波大学人間系障害科学域：hsuzuki-tuk@md.tsukuba.ac.jp）